



# おノ もてなし ロッコ号で

4月27日から運行している釧路湿原ノ  
ロッコ号。6月8日には川湯温泉駅ま  
で延長運行し、標茶の地元事業者や  
標茶高校生が観光客をおもてなしし  
ました。

く  
しろ湿原ノロッコ号  
は、北海道旅客鉄道(JR  
北海道)が釧網本線釧  
路駅・塘路駅間で平成元年6月24  
日から運行しているトロッコ列車  
(臨時列車)ノロッコ号の一つで  
す。

ノロッコ号は、釧路湿原を一部  
沿うように約1時間掛けてのんび  
りと走行しながら、蛇行する釧路  
川やエゾシカ・タンチョウなどの  
野生動物たちの姿、手付かずの大

自然を体感することが出来る観光  
列車です。見どころのポイントで  
は列車を減速・停止して車内アナ  
ウンスによるガイドが行われるほ  
か、車内では乗車記念の証明書が  
配布されるなど、多くの観光客に  
喜ばれています。

さらには、観光客に標茶の魅力  
を知ってもらい喜んでもらうた  
め、標茶駅でノベルティの配布・  
地元事業者による物販、車内で標  
茶高校の生徒によるガイドなど、

町内のさまざま  
な団体が連携し  
取り組んでいま  
す。

今年も、10月  
6日(日)まで通常  
運行するほか、  
「ノロッコ川湯温  
泉号」は7月6  
日(土)・10月5日  
(土)、「よくばりノ  
ロッコ号」は8







①標茶高校で「地域環境系列」を専攻している生徒5人が、釧路湿原に関するガイドを行いました。②長坂チーズ工房ではチーズが販売されました。③ポロニ養鶏場ではプリン、シフォンケーキなどが販売されました。④風牧場では、ヨーグルトなどが販売されました。

月13日(火)～16日(金)、「夕日ノロッコ号」は9月21日(土)～30日(月)と、さまざまなお楽しみを楽しまさず。町内の皆さんも、ノロッコ号に乗って、楽しんでみてはいかがでしょうか。

## 観光協会から

くしろ湿原ノロッコ号は、SI冬の湿原号と並び釧網本線、標茶町を代表するアクティビティの1つです。たくさんの旅行者に釧路湿原の雄大さや酪農、畑作とひがし北海道らしい地域の景色を見て感じてほしいです。

年に数回しか実施されない川湯温泉延長運転の時は、標茶駅にくしろ湿原ノロッコ号が来ます。一緒にお出迎えして盛り上げましょう！

**炭田晃希さん**  
標茶町観光協会事務局



## 来場者の声



鹿児島から来た  
加納さん夫婦

鉄道を乗り継いで鹿児島から来ました。この季節の緑の匂いがとてもよかったです。シフォンケーキを楽しみたいです。



東京から来た  
國谷さん親子

北海道が大好きで、一度はノロッコ号に乗ってみたいと思っていました。想像以上にキレイで感動しました！